

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業	事業コード	1587
-----	-----------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	属性 環境	基本施策 人と生きものが共生する環境社会を構築する	実施施策 循環型社会の推進	3103
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 郷土の誇りを未来につなぐまちづくり	分類(小) 自然・地球環境		722

PLAN(計画)	部署名	環境課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭からごみステーションに排出されたごみの収集・運搬等を実施し、一般廃棄物の適正処理を行う。				
	概要	家庭用一般廃棄物【燃えるごみ、燃えないごみ、資源物(空き缶他10種)、有害物(乾電池他2種)】を収集する。				
	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等				
	実施形態	現在	民間等委託(一部) 啓発：市 収集業務：委託			

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	ごみ収集日数(可燃ごみ)	日	目標値	205	205	205	205	205
			実績値	205	205			
	ごみ収集日数(不燃ごみ・資源物)	日	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	190	190			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	1人1日当たりごみ排出量	g/人・日	目標値	980	960	940	920	900
			実績値	1000	1024			
	計算根拠	ごみ総排出量/鯖江市人口(外国人除く)/当該年度の日数	達成率(%)	98.0	93.8			
			ランク	A	B			
実数値			24728 t / 67767/365	25458t/67939 /366				

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)
予算額		268,000	255,000
決算額		245,754	
繰越額		0	0

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	ごみ収集事業は市民生活上必須の事業。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、市が行う必要がある。	
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名		
		根拠		
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名			
	根拠			
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限のコストで対応している。なお、収集単価については、経済変動を踏 まえ、見直す必要がある。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	ごみの有料化も考えられるが、現段階では時期尚早である。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	ごみの有料化により、ごみの減量化が期待できるが、現段階では時期尚早であ る。。		

ACTION	【平成24年度 方向性】	<input type="text" value="事務改善"/>	【平成25年度 方向性】	<input type="text" value="事務改善"/>
	平成24年度取組み	ごみ減量化推進のため、広報等により、ごみ排出量の現状や削減効果に関する情報提供を行い、意識啓発に努めるとともに、ごみの有料化に関する調査や小学校等からの生ごみの堆肥化モデル事業を実施し、家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))を収集する。さらに、古紙類・空き缶の集団回収奨励金制度を創設し、紙類等のステーション排出量の削減を図る。	平成25年度計画	ごみの減量化を進めるため、広報等による啓発のほか、家庭の生ごみ堆肥化を促進するためのダンボールコンポストの普及や小学校等における食品残渣の堆肥化事業を支援。ごみの有料化に関する調査検討を進めるとともに、古紙類の集団回収奨励金制度の利用促進を図り、家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))のステーション排出量の削減に努める。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】						<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能			
実施状況	-	未実施	未実施				